

科目名	生活の科学と健康	科目名 (英文)	Life Science and Health
担当教員	森岡 郁晴 教授 太田 裕理子 非常勤講師		
配当年次・学期	1～4年次・前期	履修区分	選択
単位数	2単位	時間	30時間

概要・目的

本科目は、生活環境と健康との関係を理解することを目的とする。健康で豊かな生活を確保するための生活環境について自然科学的視点から指摘でき、健康障害を予防する対策を指導できる能力を養う。

到達目標

- 1) 空気や水、騒音、放射線などの物理的環境、住居、廃棄物などの身近な生活環境と、個人の健康との関わりりの基礎知識を修得する。
- 2) 生化学的な側面から外部環境が変化した場合のヒトの適応を修得する。
- 3) 生活環境の問題点について、健康障害を予防する視点から説明することができる。

回	内容・スケジュール	担当
1	生活環境と健康（その1：大気の正常成分）	森岡
2	生活環境と健康（その2：大気の汚染物質）	森岡
3	人体の組成と栄養素	太田
4	酵素の構造と機能	太田
5	代謝経路とその調節（その1）	太田
6	代謝経路とその調節（その2）	太田
7	遺伝子の構造と機能	太田
8	生活環境と健康（その3：水）	森岡
9	生活環境と健康（その4：水の浄化方法）	森岡
10	生活環境と健康（その5：騒音・振動）	森岡
11	生活環境と健康（その6：放射線）	森岡
12	生活環境と健康（その7：住居）	森岡
13	生活環境と健康（その8：廃棄物）	森岡
14	環境衛生検査、生体情報の観察などの実習（その1）	森岡
15	環境衛生検査、生体情報の観察などの実習（その2）	森岡

事前・事後学修課題

評価方法

試験（80%）、レポート（10%）、参加態度（10%）

評価責任者

森岡 郁晴

教科書

特になし

推薦参考図書

岸玲子、小泉昭夫、他編「NEW 予防医学・公衆衛生学改訂第4版」南江堂 2018
 武田眞太郎、宮下和久著「公衆衛生学四訂版」培風館 2015
 石黒伊三雄監修「わかりやすい生化学第5版疾病と代謝・栄養の理解のために」ヌ?ヴェルヒロカワ 2016

学生へのメッセージ

保健看護学で学ぶ科目は、身体の中で何が起きているかを知るものがほとんどです。
 でも、患者さんが療養している環境を見る力も必要です。この科目を通して、環境に関心を深めてみませんか。

教員への連絡方法